

“ヒヨコ抱きたいコール”

園長 高杉 洋史



六月十三日に十羽のヒヨコが孵化しました。十六日にも二羽うまれ、玄関に交じって、ヒヨコが仲間入りして、にぎやかになりました。目ざとく見つけた子どもたちが、「ひよこだきたーい、ひよこだきたーい」というので、各クラスでは、ひよこの観察会とかカワイガリ会というか、興味と興奮に包まれた時間が過ぎていきます。

今年の年長さんは観察力に優れ、春先から、サクランボや桑の実は自分でちで食べごろを判断し、色水遊びにも、それぞれのオリジナリティーを發揮し、ミントの飾りを入れたりして遊んでいました。桑の実は赤紫色が美しいのですが、衣服に付くとれにくいので、制服やスモックの汚れに困られたお母様もたくさんいらっしゃると思います。でも、汚れよりも教育効果や子どもが喜ぶことを重視してくださり、園長もうれしいです。

幼稚園教育要領の環境分野は一般社会で言うところのサイエンスの分野なのですが、左記のような目標とねらいが記されています。

環境

周囲の様々な環境に好奇心や探究心をもつてかわり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う。

ねらい

- (一) 身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつ。
- (二) 身近な環境に自分からかわり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとする。
- (三) 身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする。

玄海ゆりの樹幼稚園の教育はなかなかいい線いっているではありませんか。トウのたつたダイコンやタマネギにも大喜びしてくれる子どもたちに励まされ最近ではゴーヤを植えました。音楽発表会が終わるころ、ジャガイモが収穫時期を迎えます。また子どもたちが泥んこになりますが見守ってください。

